南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ（日記の一種：掲載許可済み）等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方（滞在の方・避難された方等）が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、今まで協力いただいた先（判明力所所のみ）：長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所：新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、福島大学ボラセンほか
新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

つながろう！八王子で！開催御礼　2011/09/29
sunsunmylife の気楽にいこう
私が東京などの関東圏内で行っている避難者への支援活動、南相馬の会社への支援、インターネットのツイッターを利用した情報発信などをしています。
http://sunsunmylife.blogspot.com/2011/09/blog-post_29.html
2011年9月25日（日）に第一回「つながろう！八王子で！」が無事に開催できることになりました。

私は隠すことが嫌いなのでハッキリいいますが、23日まで参加者0名でそれよりも見に来たいという方ばかりでした。
被災者の方が来てくれるようになったのは、どうやら NHK で放送したのを見て問合せが来たり新聞に掲載されたり最後には Twitter や八王子の皆様に貼って頂いたポスターで気になっていたとのこと。
やはり草の根とメディアを生かし切れたことが今回の開催でわかりました。

また八王子市議会、八王子市の方もお越しいただき色々と見て頂き、何かを感じてもらえたので八王子市ともタイアップしていきながら行なっていけるようにがんばりますので宜しくお願い致します。

また実際の内容としましては徐々に集まりはじめ12時頃から自己紹介を始めて終わったのが2時間。
やはり溜まりに溜まった本音や辛さ、あの時のこと、こちらでの出来事全て聞きました。
時に涙、時に笑いがありとても良かったです。人同士が近いこともありとても仲良く話せました。
またお子さんが歩きまわる環境にもあれぐらい人がいれば子供だって喜びますから^^；
ただ元気よすぎて怪我しちゃった子もいるから次回から安全面対策も考えなくてはならないと反省しました。

―またやってほしい！
この声を言われ今回行なってよかったな～と思います。
二回目は草の根活動に力を入れていきます。

ご協力頂いたご支援者様、ポスター掲示を頂いた皆様本当にありがとございました。
あたらしいポスターできたらまたご理解の上でご掲示頂けたら嬉しいです。宜しくお願い致します。

また今後の「つながろう！八王子で！」の情報は別ブログに掲載し
こちらは写真のサイトに軸を戻したいと思います。
http://blog.livedoor.jp/tsunahachi/

存在価値　生きる
大変な今を発信していきます。まだ踏ん張り時です。あともう少し、粘りましょう！。
2011 年 09 月 27 日(火) 22 時 56 分 15 秒
http://ameblo.jp/kanasanndoo/entry-11031475821.html
こんにちは、キャナです。

今日、ある人に
『南相馬から来てるからって被害妄想丸出しでいんじゃねーよ』
的な事を言われてしまいました。

もっと書きますと、
あなたの顔が『私は被害者で可哀想でいたたまれない子だからたすけてください～』みたいな暗くて相手を不愉快にさせる顔だ、とかその人の昔の教えてた人の話で、『津波でお父さん亡くしてお葬式にもでれなかった私の教え子よりもあなたは幸せのはずなのに何故、南相馬がどうたら原発どうたらいうの』とか。

返事はないの？
と言われたので、『はい』と言うと謝れと何度も言われました。
南相馬なんかより、郡山は大変だ、しかも郡山の人たちはそれを口にださず、黙々と必死に頑張っている。
お前は違う、と言われました。
それって立派な風評被害じゃないですか？
今、思い出すだけでもヘドがでる愚言だし、胸が痛くなります。
頑張る、て何？
私は今を必死に生きてる。
ただそれだけなのに。

ただ生きてるだけでどうしてわたし自身を完全否定されなければいけないのですか？
何かを残そうとこうやって疑問を投げかけていくのはダメ何ですか？
わたしは一体何？

私が南相馬市民だ、というだけで何故、差をつけられなければならないのか。
『あなたは南相馬市から来て遅れてるんだから、自分、他より歌えてるわけないでしょ』
は堪えました、流石に。

泣いてしまいましたよ。
あと
『テレビ、新聞と出てるからって調子のらないでくれる？』
も。
調子のってないっつーの。
じゃあ、ノーコメントで、とでも言えと？
それこそ何様だって感じじゃないですか？

これ以上、この人がアクションを起こした場合は、教育委員会に訴えたいと思います。
絶対に許さない。
私が侮辱されたことはどうでも。
勝手にいってれば良い。
私は他人にはさほど興味ありませんから、御勝手に。
だけど、南相馬を侮辱したのは許さない。
郡山にしかすんでないやつが何を言う？
悪いけど郡山はまだマシでしょ。
大熊、富岡、双葉、小高を見れば一目瞭然でしょ。
馬鹿じゃないの？
南相馬だってねぇ、鹿島に学校移してそこまで毎日、バスで通ってんだよ。
何時間かかると思う？
2 時間 30 分だぞ？
まだ幸せだろうが。
私だってそれをわかってっから幸せかみしみめて必死に生きてんだろうが。
飯舘、長岡市での避難生活を知ってるから今の私がある。
それがない人に言われたくない。

しかも津波と原発を一緒にしないで欲しい。
津波が一番辛いというのは確かに当たってる。
でも、別個でしょう？
津波と原発を比べて命について、どちらかの被害にあってもないくせに語るのは失礼です。

分かったようなロですみません。
今のは『ある人』に向けて言った言葉です。
新聞に出そうな内容ですよね。
全て、実話です。

福島県民同士でも、こんなことがある。福島県民とは結婚するなとか言われてる世の中。
けれど、私は一生、誇りを持って南相馬市民だと言い続けたい。
評価は他人がつけるけど私の存在価値は私が決める。

##

南相馬市から9月28日夜　サイヤ社長のブログ
福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2011-09-28 19:50:31
http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/ef3188a0f74fbb89c9586275ffcaebbe
今日は仏前(お内仏)にケーキ、を供えました。私と同じように甘いものが好きだったので、必ずそうしています。お花は義理の姉がいつものように活けてくれています。義姉のおかげで仏前からお花が無い日はありません。
そして、今日は親鸞聖人の月命日でもあります。

『今、私たちはどこに向かえばいいのか』

私たちは一体何を求めてこの社会を作り上げてきたのでしょうか。現代は大きな曲り角にきているように思います。
『死』を見つめることが大切なのかも、今どういう人たちが、ど

のようにして亡くなっているのか。これをつぶさに見ていく、それだけでも
私たちがどこに向かっていけばいいのかという事が、おぼろげながら見えてくるのかもしれません。
社会は続いても、いのちには必ず終わりがあります。その当たり前のことを実感するだけで、おそらく他者に対する向き合い方や自分の人生に対する考え方が変わっていくのではないでしょうか。

工業化によって予測可能な計画を立てることが重要になりました。しかし人としての個性やかけがえのなさという気持ちなどの予測不可能な存在は社会を機能させるにはやっかいですよね、その人がいなくなったら、社会が機能不全に陥ってしまいます。だから、企業は誰でも出来るようなシステムを作りだす。社会を運営するためには必然だし必要だけれども、それだけだと人はなぜ生きているのかわからなくなってしまう。
社会のうねりに飲みこまれないように、負けないようにしなくては、そして人には必ず死が訪れること、そしてその死をどう迎えるべきかと、
私たち一人ひとりがしっかりと考えていかなければならないと思います。

南相馬市から9月30日夜　2011-09-30 19:20:31
http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/d6b4c5b15a2afa72c46041510ecc53b3
ある時『浄土って本当にあるのですか』ある人がお尋ねになりました。住職さんが『あります』とお答えになりました。

そしてすぐに『家庭ってあるのですか』と聞き返されました。その方はあ、分かりましたと言われたそうです。
浄土と家庭を同じ次元で語ることはもちろんできません、ただ浄土も家庭も『願い』ということを抜きにしては語ることはできません。

家庭とは、家族が生活を共にする集まりとか、その生活の場です。しかし、家庭の意味はそれだけではなく、帰りたい所、安心できるところ、
一歩を踏み出す意欲を生み出す場でもあることが大切ですよね。そういう場を求めているのが私たちであると思います。

家庭を成り立たせているのは、まさしくいろいろな願いであり、自分を静かに見つめる余裕を持つことの出来る場が温もりのある家庭であると思います。この地の多くの家庭は願いをかなえられる状況にあるのでしょうか、その場を成り立たせている願いに問題があるということでしょうか、場は願いによって自ずと作られていくものですが、今いる場が真実でないならば、それを成り立たせている願いそのものがかなえられるのかが疑問ですが。

避難区域が解除になりました、願いをかなえられる家庭が増えていくことを願わずにはいられません。

##

捨　捨　捨　･･･　老原発震災避難者の心境
負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！
南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-09-30 13:18:28
http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/c46b78933e2eb3a2aaf098e51566b575

2010. 11　東ブータンで

捨てる　捨てる　捨てる
どうせ何から何まで
捨てねばならぬ時がやってくるのだ

捨てて　捨てて　捨てて　カラッポのとき
そのカラッポの中には　すべてそのまま
どうせねばならぬことはない　すべてそのまま

ただ捨　捨　捨
大空に白雲は流れてゆく

･･･　緊急時避難準備区域一斉解除の日　･･･

##

東京と南相馬を繋ぐ素敵な贈り物
[麺喰い]CrosS (2011.09.29 10:30)
相双ゆたどさ　ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～
http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3894.html

こんにちは～CrosS です(*^－^)v

～相手を思いやることの大切さを理解する～を目的とし、「南相馬への贈り物」と題して、社団法人東京青年会議所杉並区委員会が行った「はっぴいプロジェクト」が杉並区の子供達に向け実施されました。

※社団法人東京青年会議所杉並区委員会ホームページ内
(URL:
http://www.tokyo-jc.or.jp/suginami/suginami-jigyou.html)
講師として、中越沖大震災を経験なされた小千谷新聞　主筆の藤田　徳英さんのお話と、東日本大震災のボランティアに行ったお友達のお話を聞いた後、子供達自身に「じぶんたちにできること」を考えてもらう。
こういった事業が東京　杉並区立天沼小学校で 9 月 10 日に開催されました。
その際、杉並区の子供達が「南相馬市のみんなが元気になってくれるように」と杉並区の子供達の心のこもったメッセージが書かれた応援旗とメッセージカードの入ったミサンガを作成してくれました。

9 月 26 日
南相馬市鹿島区の小学校「八沢小学校」と南相馬市役所へ応援旗とミサンガを届けに東京青年会議所杉並区委員会の
委員長：下田　恭子さんと、副委員長：勝俣　良美さんのお二人が子供達の代表とし南相馬市へ来訪していただけました。
現地協力とし、原町青年会議所　田中章広理事長と、日本青年会議所　東北地区　福島ブロック協議会　坂田　敦志会長の案内の下、最初に訪れた「八沢小学校」では応援旗 1 旗とミサンガを寄贈

八沢小学校の小学生代表のお二人が校長先生と共に素敵な贈り物を受け取りました。

続いて南相馬市役所で、南相馬市長の桜井　勝延市長と対談を交えながら応援旗 2 旗を届けに。

「これは凄い!!」と桜井市長も、とてもお喜びになられていました。
南相馬市役所に寄贈された応援旗は期間を決めて、南相馬の各小学校に展示されます。

写真を見て頂ける通り、応援旗はとても大きいです。
その大きな応援旗の隅々までメッセージが書かれていました。
またメッセージを書いてくれた子供達一人ひとりの顔写真の応援旗は、遠くから見ると、杉並区の子供達代表の二人の笑顔に変わる加工がなされています。
東京青年会議所杉並区委員会のお二人はこうおっしゃっていました。
「杉並区の子供達は私達が考えている以上に福島の事を考えています。」と。
南相馬市の子供達の元気へ、そして希望へ繋ぐ素敵な贈り物。
_/
はっぴいプロジェクト
【共催】社団法人　東京青年会議所、天沼小学校支援本部
【主管】社団法人　東京青年会議所　杉並区委員会
【講師】藤田　徳英さん（小千谷新聞　主筆）
_/
9 月 26 日寄贈
【主管】社団法人　東京青年会議所　杉並区委員会
【現地協力】社団法人　原町青年会議所
公益社団法人　日本青年会議所
東北地区　福島ブロック協議会　坂田　敦志　会長
_/